

49社に聞いた！

# クラウド運用および 障害対策実態調査レポート

2016年6月版

1. 調査概要	・・・ P. 3
2. アンケート回答企業基本情報	・・・ P. 4
3. クラウドの活用実態	・・・ P. 7
4. クラウド運用における障害の実態	・・・ P. 11
5. 障害に対する対策の実態	・・・ P. 14
6. 巻末	・・・ P. 19

調査期間	2016年4月～2016年6月
調査方法	アンケート形式
調査対象社数	有効回答数49社

私ども、株式会社エスエスアイ・ラボでは、これまでに数多くのお客様のクラウド導入およびクラウド運用サポートを手がけて参りました。その中で、システムご担当者の皆さまから、「他の会社のクラウド運用や障害対策の実態は情報が少なく、一般的にどのようにクラウド運用しているのかを把握したい」という声を数多くいただきました。

それらの声を受け、このたび、システムご担当者の方々にクラウド運用および障害対策の実態をアンケートにて調査を行い、クラウド運用および障害対策の実態を浮き彫りにし、内容の濃いレポートを作成いたしました。

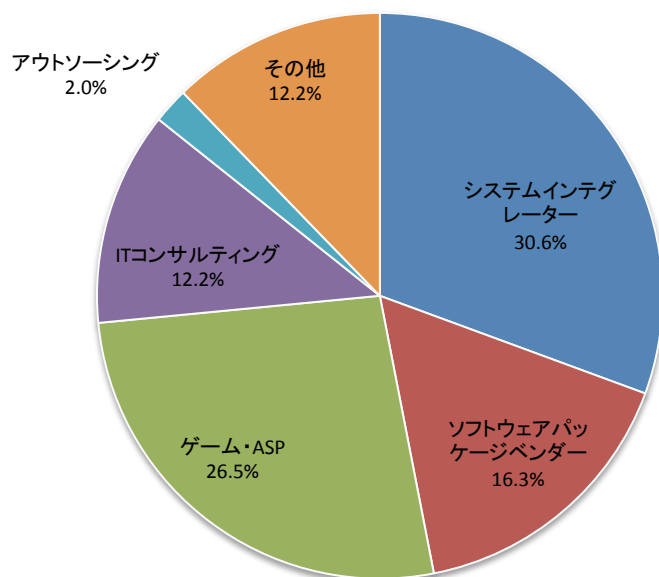
今回の調査では2016年4月から2016年6月までの期間で、計49社に対して取材を実施しました。

#### 【注記事項】

本調査には任意回答項目および複数回答項目が存在するため、有効回答数と各項目の回答数が一致しない場合がございます。予めご了承ください。

## ■ アンケート回答企業の業種

N=49

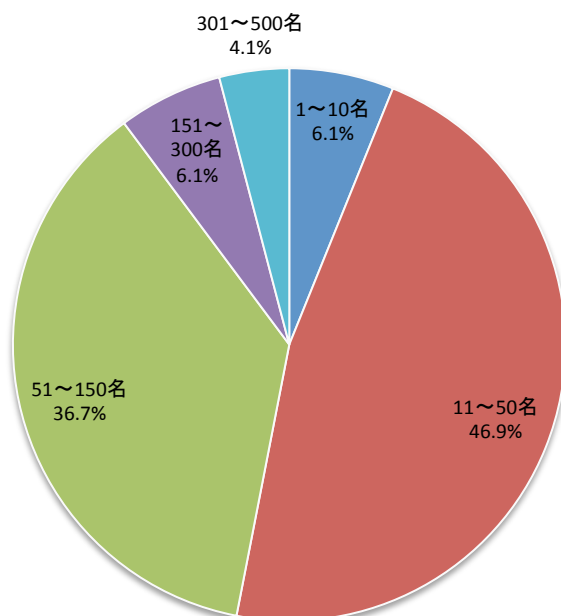


回答した49社のうち最も多かったのは、「システムインテグレーター」の企業であり、15社であった。

システムインテグレーター	ソフトウェアパッケージベンダー	ゲーム・ASP	ITコンサルティング	アウトソーシング	その他
15	8	13	6	1	6

## ■ アンケート回答企業の規模

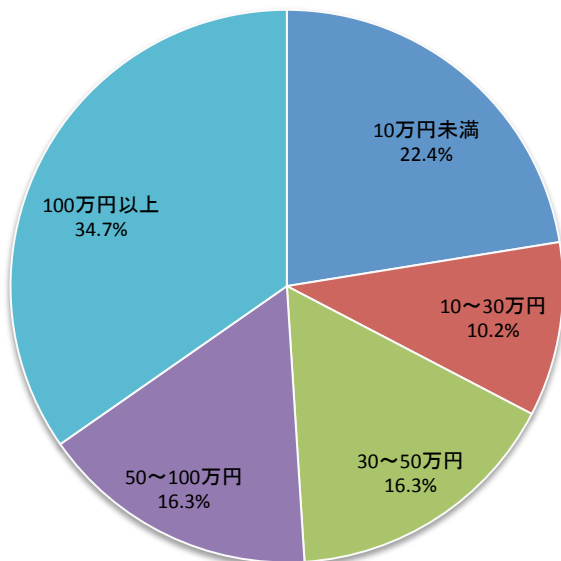
N=49



本実態調査では、1~10名の企業様から300~500名の企業様まで、幅広い規模の企業様にご回答いただいた。

1~10名	11~50名	51~150名	151~300名	301~500名
3	23	18	3	2

(1) 貴社がサーバーとネットワークにかかる月額予算について、回答を選択肢よりお選びください。 N=49

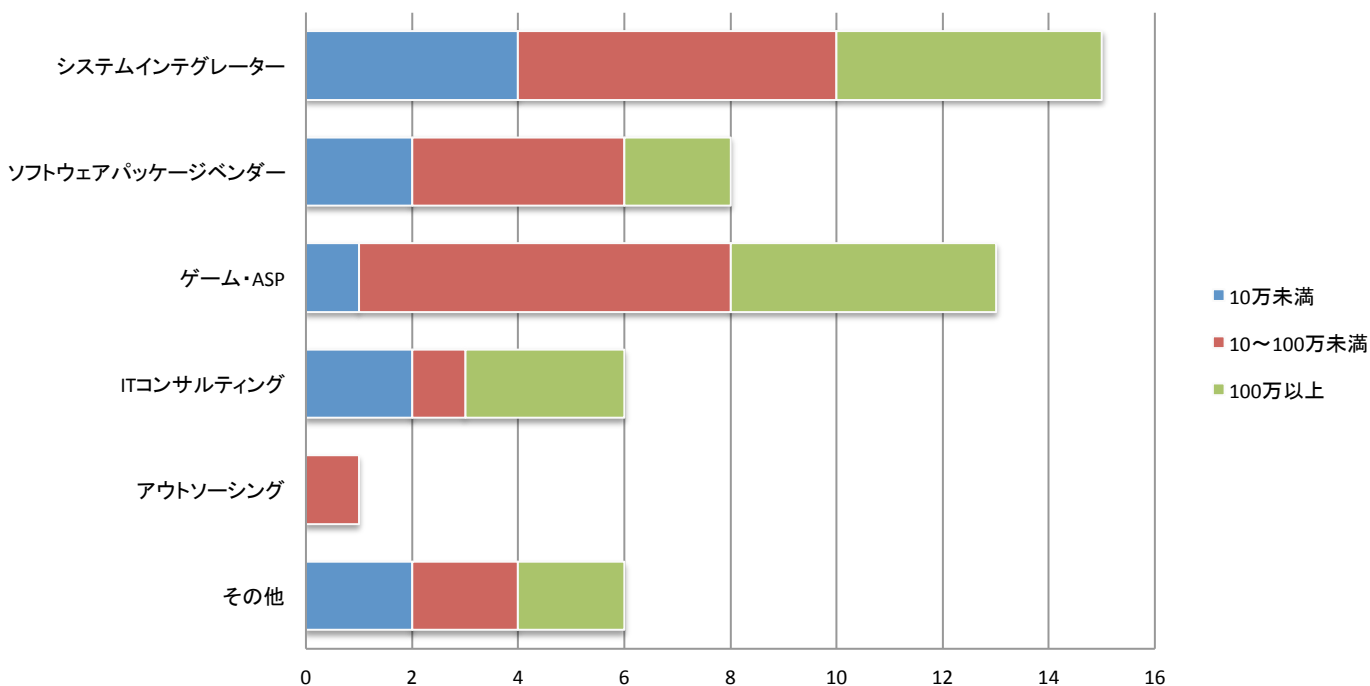


49社の回答のうち最も多かったのは、「100万以上」であり、17社が回答した。次いで多かったのは「10万未満」であり11社が回答した。

10万円未満	10～30万円	30～50万円	50～100万	100万円以上
11	5	8	8	17

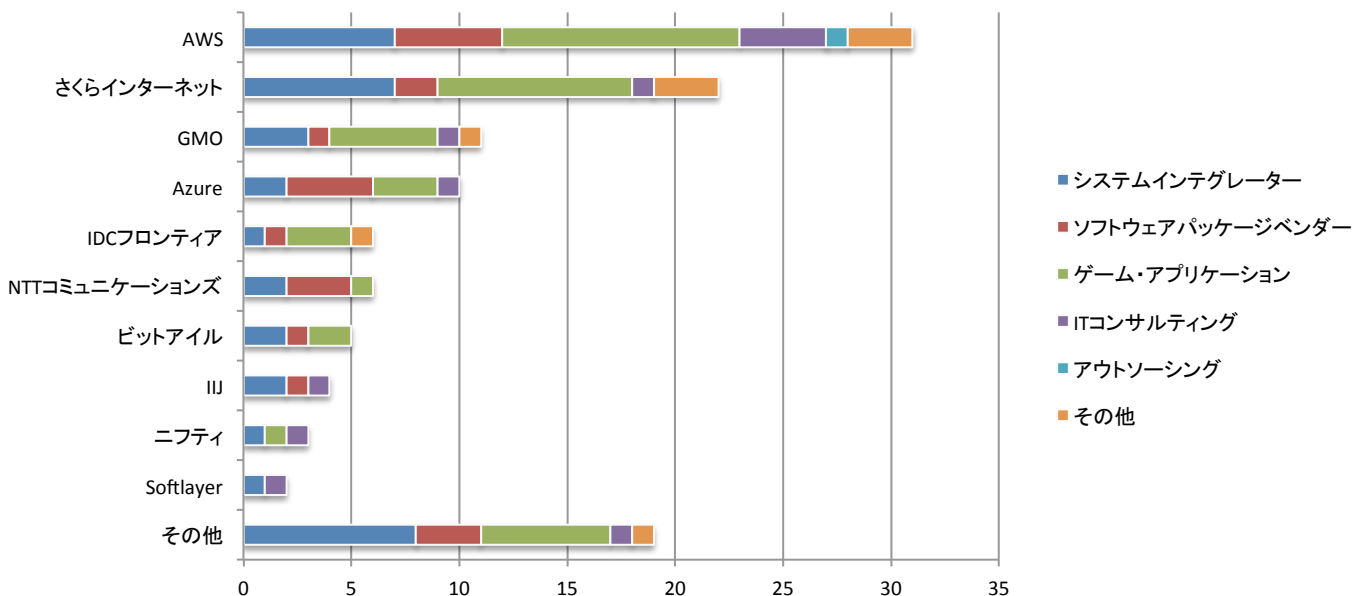
事業者別サーバーとネットワークにかかる月額予算内訳

N=49



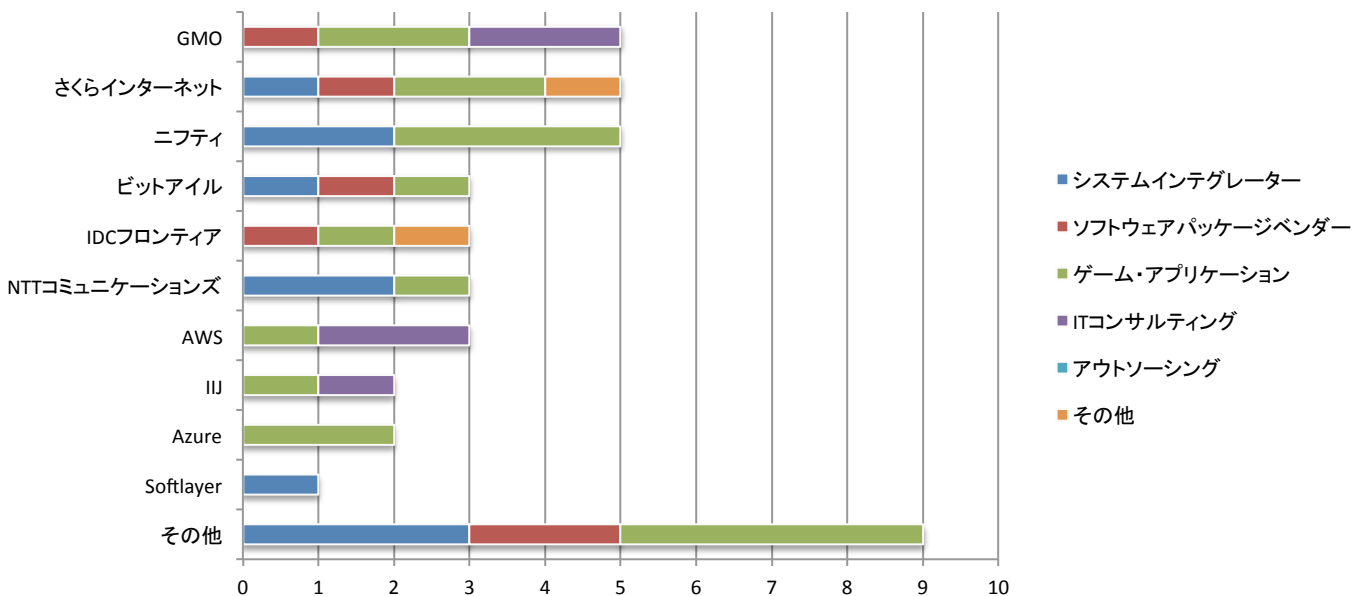
(2) 現在利用しているクラウド・ホスティング事業者を選択肢よりお選びください。

N=49



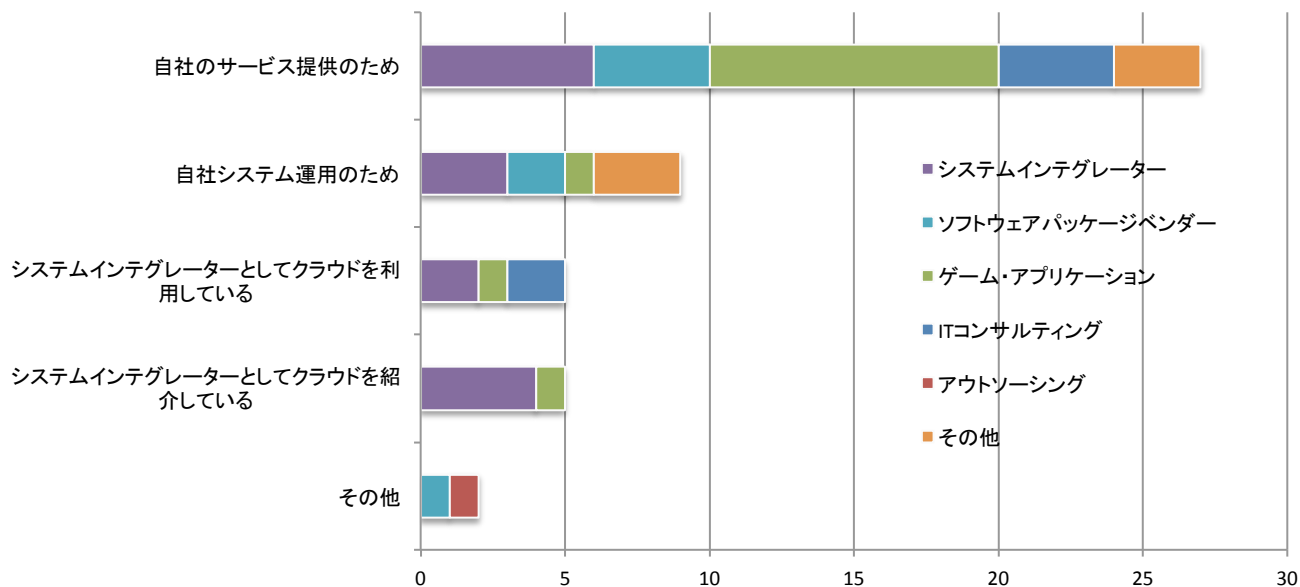
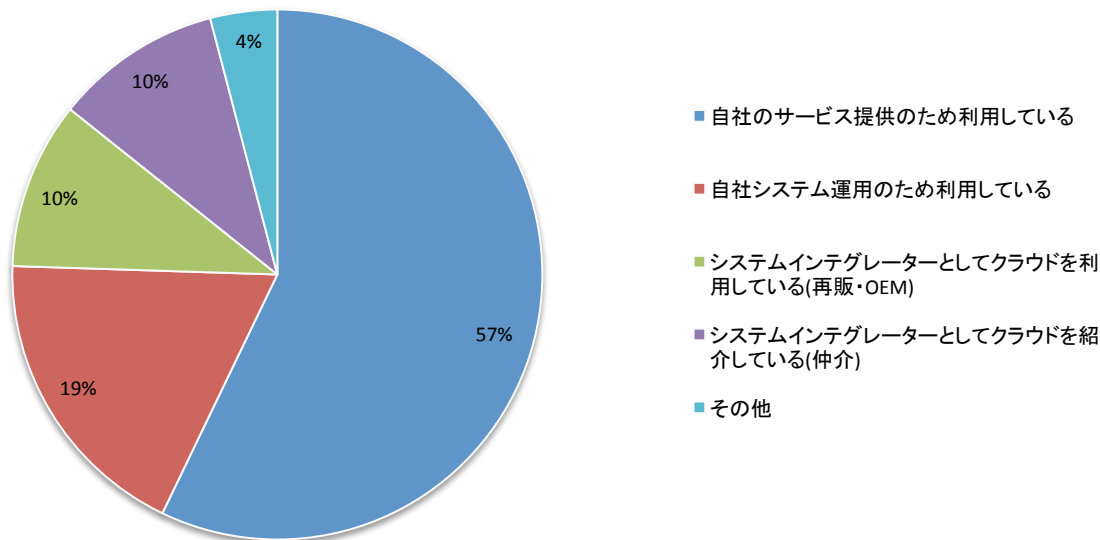
(3) 過去に利用していたクラウド・ホスティング事業者を選択肢よりお選びください。

N=26



(4) 貴社におけるクラウドサービスの利用方法で最も多い利用形態について、回答を選択肢よりお選びください。

N=49

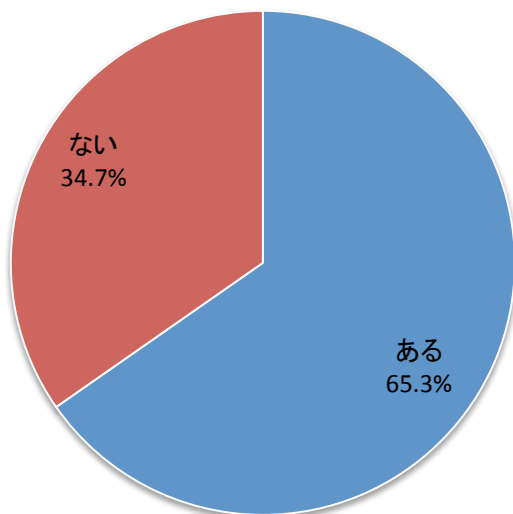


自社のサービス提供のため	自社システム運用の為	SIとしてクラウドを利用している	SIとしてクラウドを紹介している	その他
28	9	5	5	2

49社の回答のうち、最も多かったのは「自社サービス提供のため」であり、28社が回答した。

(5) オンプレミスでの運用環境の有無について、回答を選択肢よりお選びください

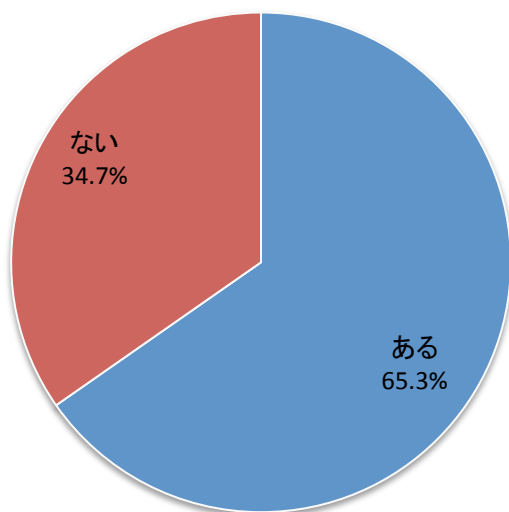
N=49



ある	ない
32	17

(6) オンプレミスからクラウドもしくは、クラウドから別のクラウドサービスへの移行経験の有無について、回答を選択肢よりお選びください。

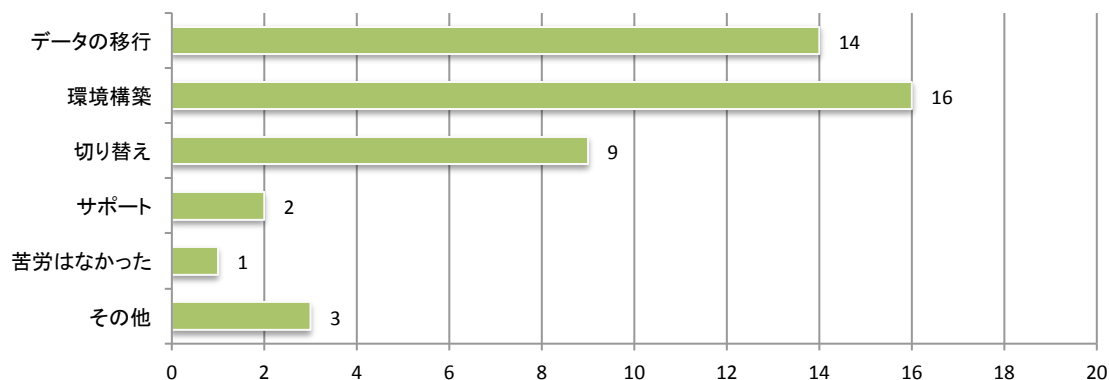
N=49



ある	ない
32	17

(7) オンプレミスからクラウド又は、クラウドから別のクラウドサービスへの移行で苦労したことについて、回答を選択肢よりお選びください。(複数回答可)

N=30



#### その他回答の内訳

ダウンタイムを少なくすること

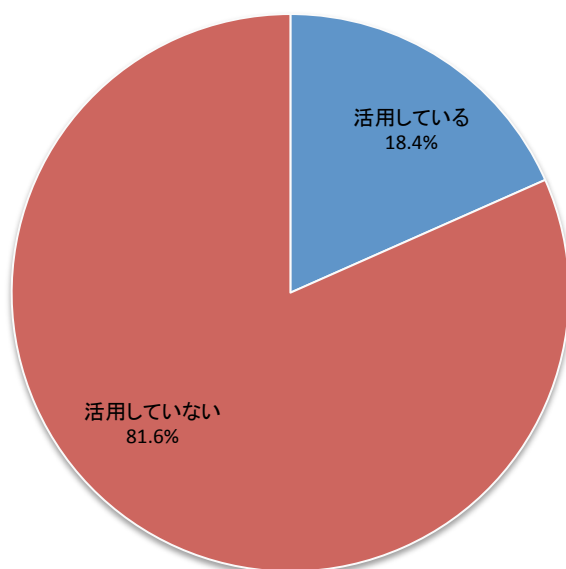
AWSのELB/VPC構築変更

お客様との調整

30社の回答のうち最も多かったのは、「環境構築」であり、16社が回答した。  
次いで多かったのは、「データ移行」であり、14社が回答した。

(8) ハイブリッドクラウド(パブリッククラウドとプライベートクラウドまたはオンプレミスを活用したクラウド運用)の活用の有無について、回答を選択肢よりお選びください。

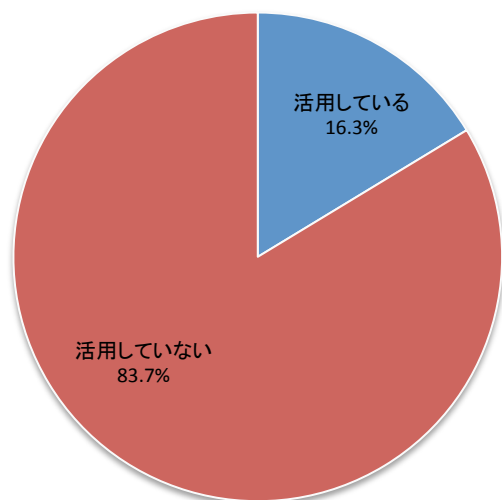
N=49



回答した49社のうち、  
「ハイブリッドクラウドを活用している」企業  
は「ハイブリッドクラウドを活用していない」  
企業に比べて少なく、9社であった。

活用している	活用していない
9	40

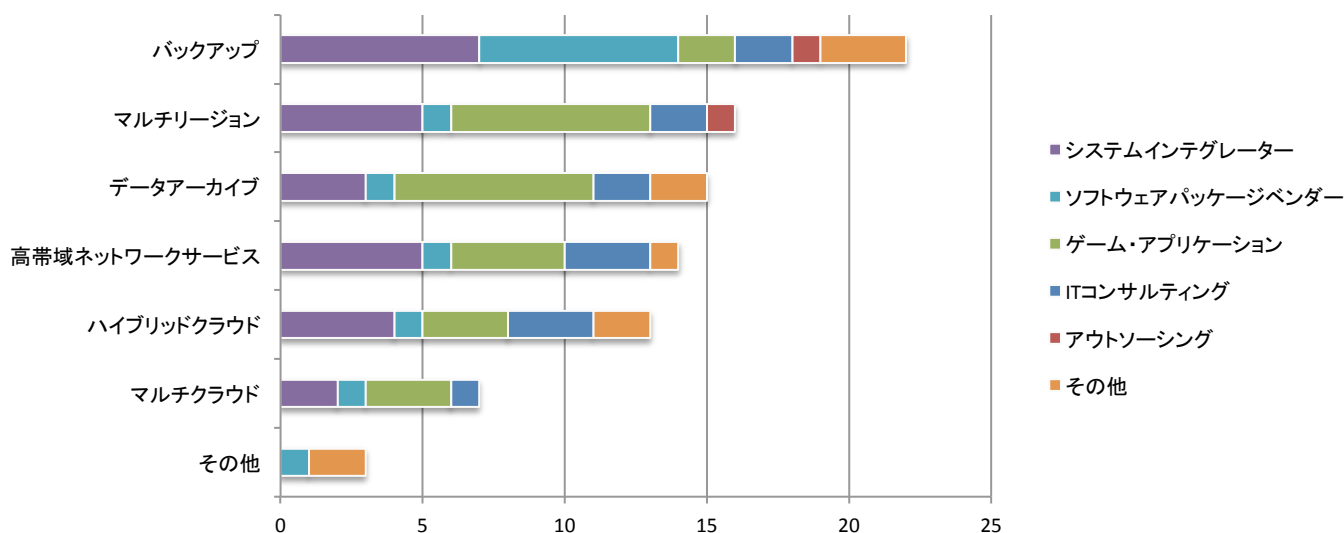
(9) マルチクラウド(複数の異なるクラウドベンダーのサービスを併用したクラウド運用)の活用の有無について、回答を選択肢よりお選びください。 n=49



回答した49社のうち、「マルチクラウドを活用している」企業は「マルチクラウドを活用していない」企業に比べて少なく、8社であった。

活用している	活用していない
8	41

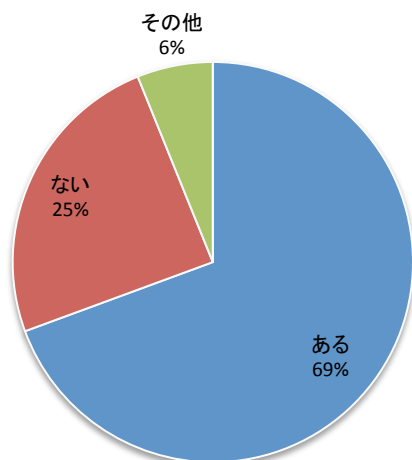
(10) 今後のクラウド利用において興味のある分野について、回答を選択肢よりお選びください。 N=49 (複数回答可)



49社の回答のうち、最も多かったのは「バックアップ」で、22社が回答した。次いで多かったのは「マルチリージョン」で、それぞれ16社が回答した。

(11-1) クラウドサービスの障害経験の有無について、回答を選択肢よりお選びください。

N=49

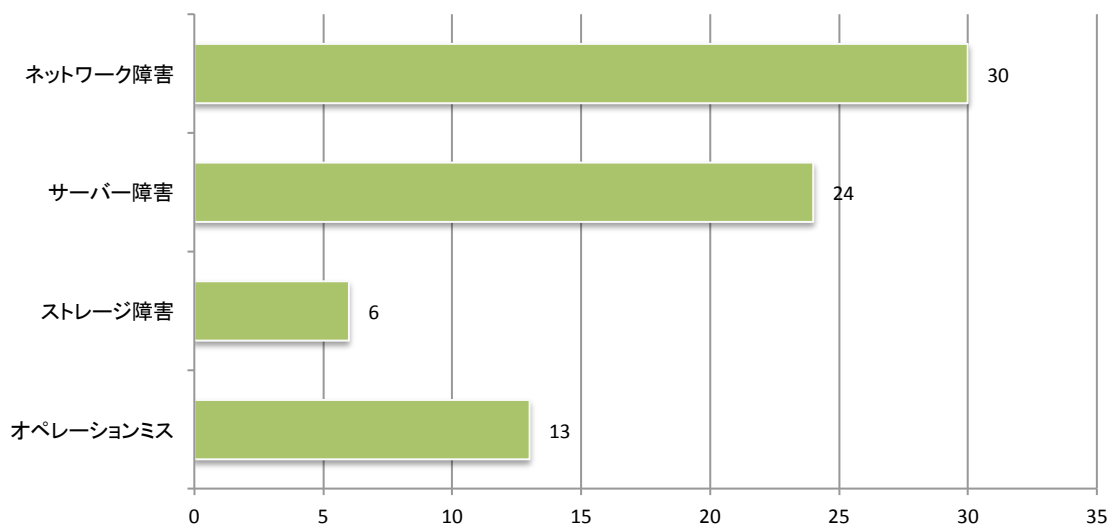


49社の回答のうち、クラウドサービスの障害経験があると回答したのは34社でした。

ある	ない	その他
34	12	3
その他回答の内訳		
不明(3社)		

(11-2) これまでに経験したことがある障害内容について、回答を選択肢よりお選びください。

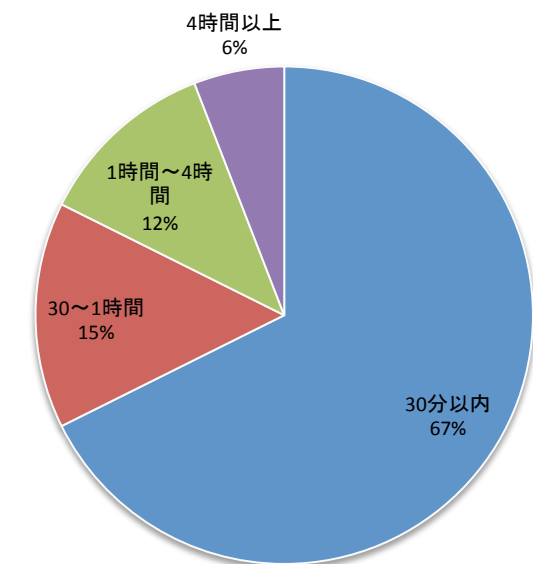
N=34



34社の回答のうち、最も多かったのは「ネットワーク」で、30社が回答した。次いで多かったのは、「サーバー障害」で、24社が回答している。

(12) 障害発生時に復旧までにかかった最短時間について、回答を選択肢よりお選びください。

N=34

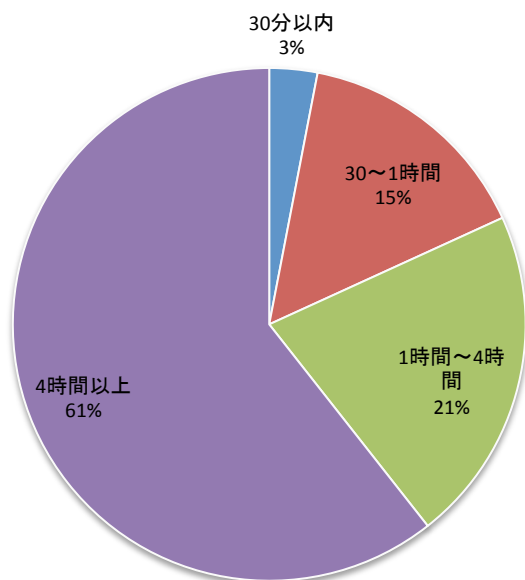


34社の回答のうち最も多かったのは、「30分以内」であり、23社が回答した。

30分以内	30～1時間以内	1～4時間以内	4時間以上
23	5	4	2

(13) 障害発生時に復旧までにかかった最長時間について、回答を選択肢よりお選びください。

N=33

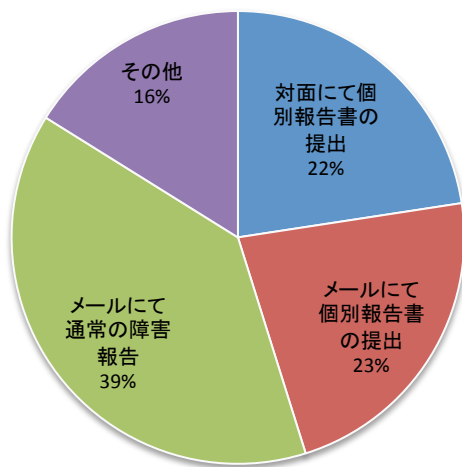


33社の回答のうち最も多かったのは、「4時間以上」であり、20社が回答した。

30分以内	30～1時間以内	1～4時間以内	4時間以上
1	5	7	20

(14) 障害発生時にベンダーから報告がどのように行われたか、回答を選択肢よりお選びください。

N=31



31社の回答のうち最も多かったのは、「メールにて通常の障害報告」であり、12社が回答した。

対面個別	メール個別	メール通常	その他
7	7	12	5

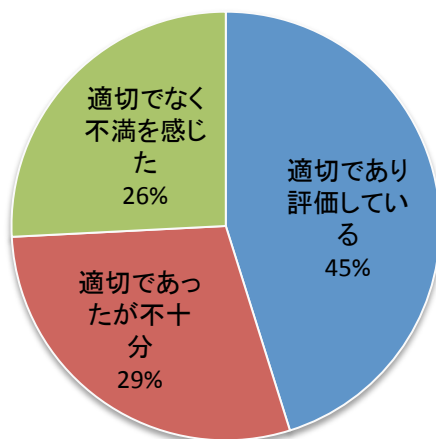
#### その他回答の内訳

Webページ掲載(3社)

電話(2社)

(15) 障害発生時にベンダーから行われた補償は適切でしたか？回答を選択肢よりお選びください。

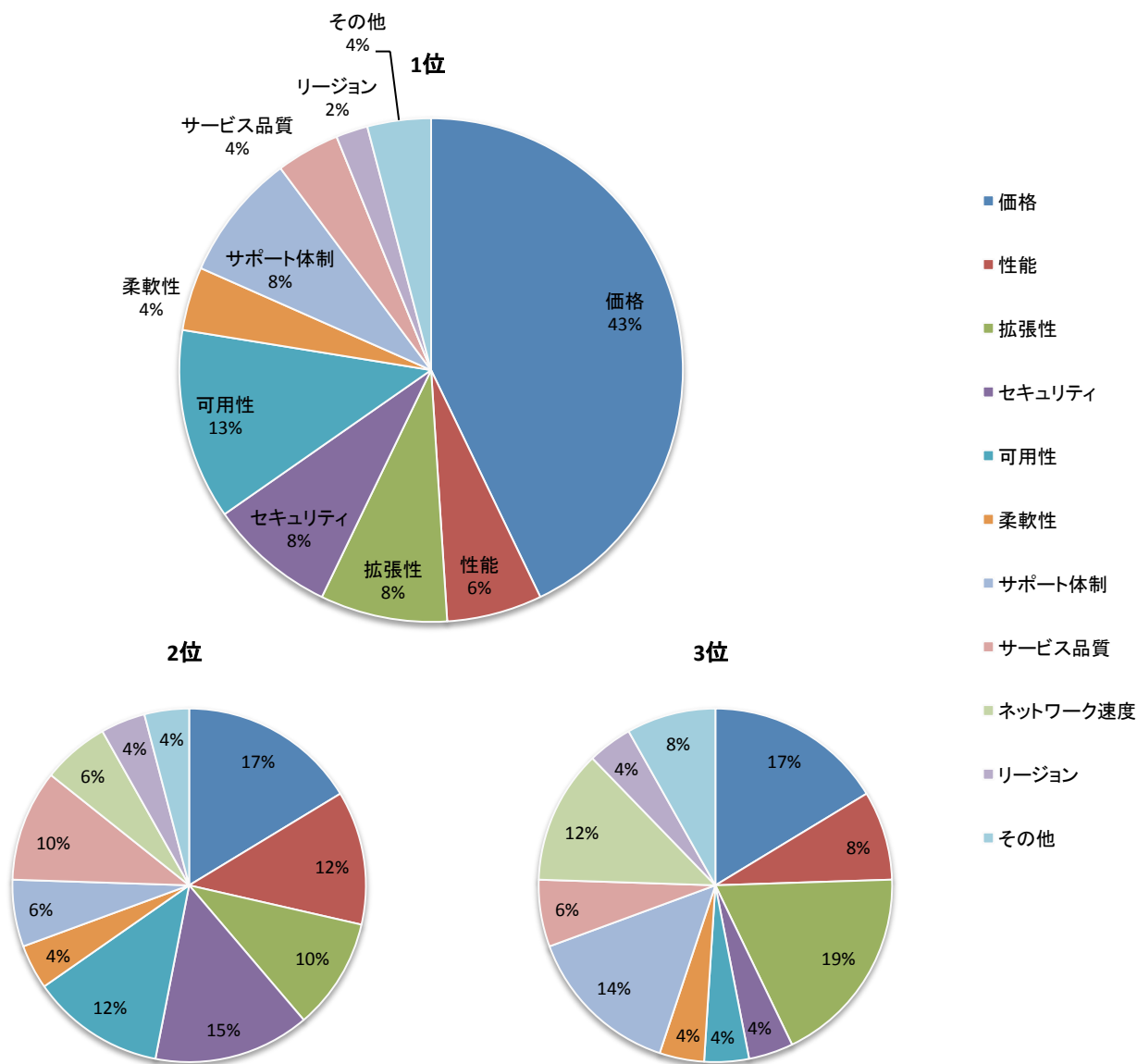
N=31



31社の回答のうち最も多かったのは、「適切であり評価している」であり、14社が回答した。

適切であり評価	適切だったが不十分	適切でなく不満
14	9	8

(16) クラウド選定時に重視する項目上位3つを、①～⑪の選択肢より1位～3位の欄に沿ってご回答ください。 N=49 答ください。



#### その他回答の内訳

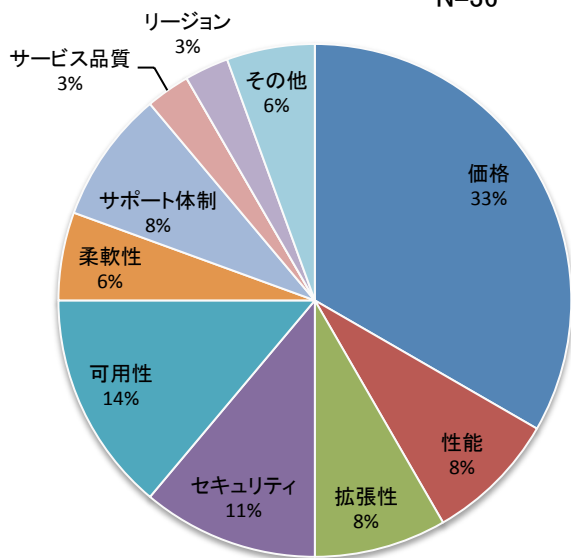
クラウドのコミュニティがあり情報を入手しやすいこと	通常でバックアップを取得してくれる
ネームバリュー	不明(2社)
サービスの継続性	手離れの良さ
運用を会社のルールに合わせられること	

1位の質問で49社の回答のうち最も多かったのは、「価格」であり、21社が回答した。次いで多かったのは、「可用性」が6社、「拡張性」、「サポート体制」と「セキュリティ」がそれぞれ4社という結果になった。

## (16) 障害経験別のクラウド選定時に最も重視する項目

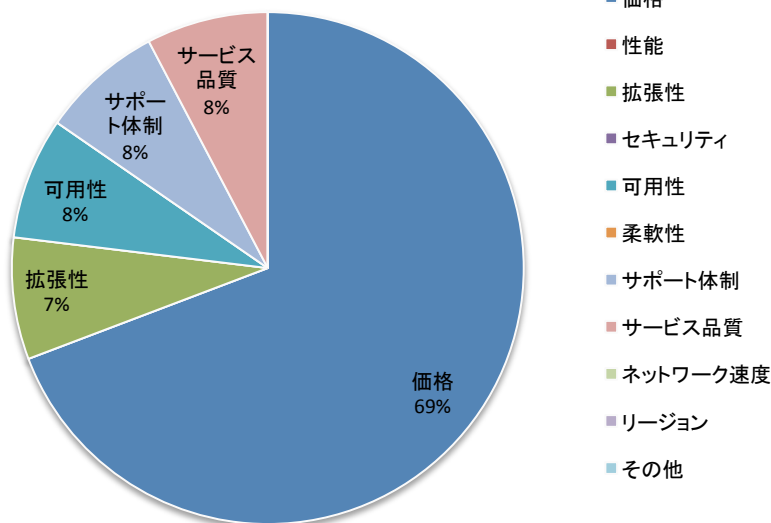
障害有り

N=36



障害なし

N=13

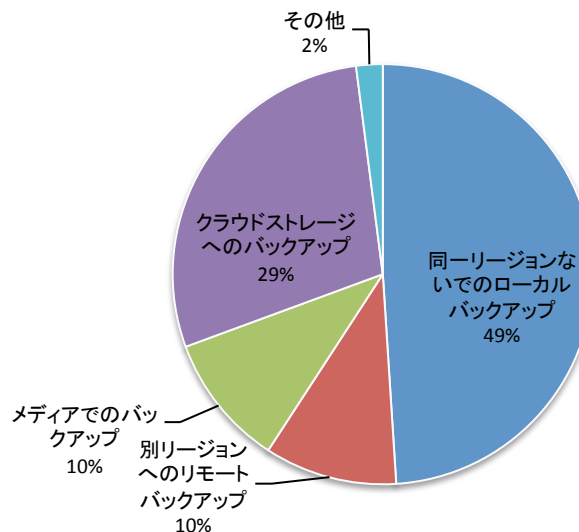


	価格	性能	拡張性	セキュリティ	可用性	柔軟性	サポート体制	サービス品質	ネットワーク速度	リージョン	その他
障害有り	12	3	3	4	5	2	3	1	0	1	2
障害なし	9	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0

障害を経験の有無に関わらず「価格」を重視する傾向があることが分かるが、経験した企業の方が価格以外に機能やサポートを重要視することが分かる。

(17) 貴社が実施している最も多いバックアップの取得方法について、回答を選択肢よりお選びください。

N=49

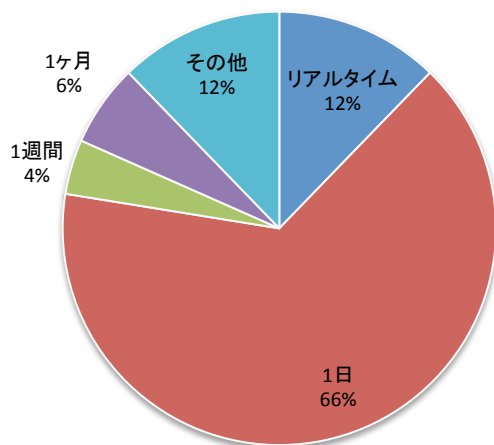


49社の回答のうち最も多かったのは、「同一リージョンないでのローカルバックアップ」であり、24社が回答した。

ローカル	リモート	メディア	クラウド	その他
24	5	5	14	1

(18) 貴社が実施している最も多いバックアップの取得頻度について、回答を選択肢よりお選びください。

N=49

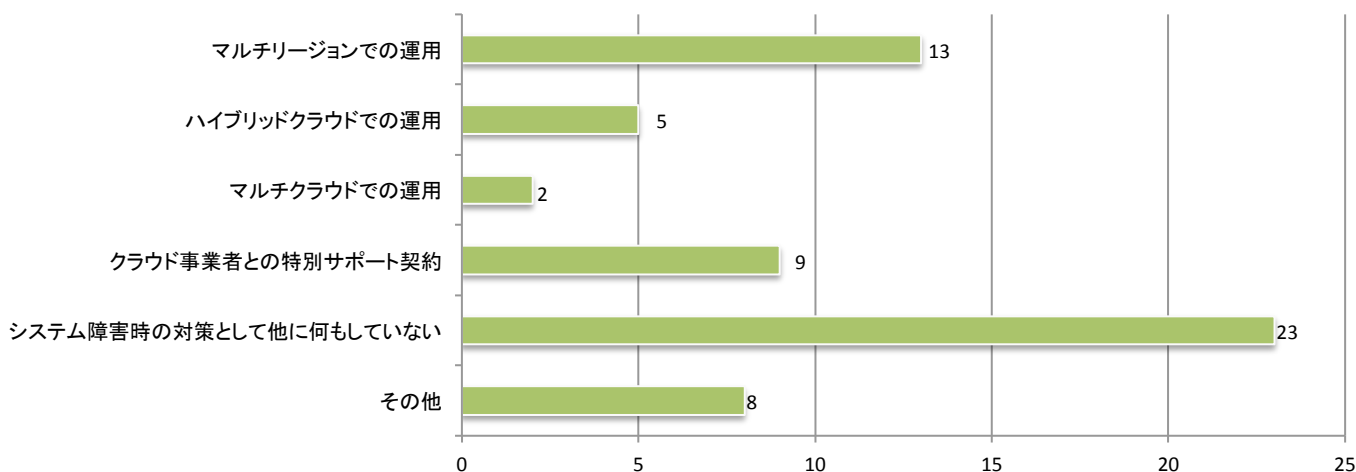


49社の回答のうち最も多かったのは、「1日」であり、32社が回答した。

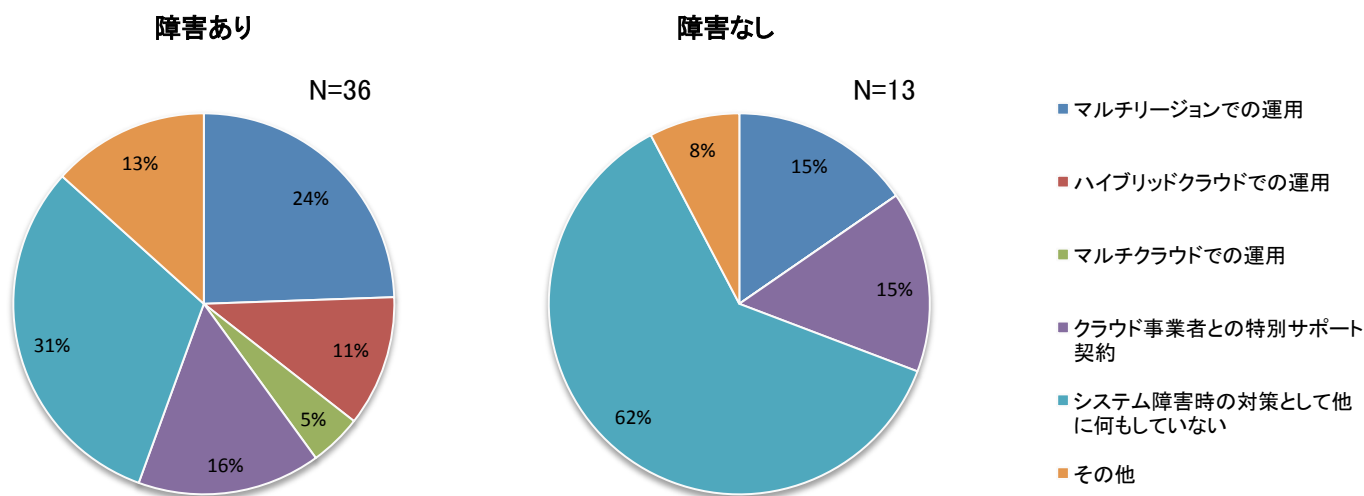
リアルタイム	1日	1週間	1ヶ月	その他
6	32	2	3	6

(19) クラウド事業者の可用性対策以外に自社で実施しているシステム障害時の対策について、回答を選択肢よりお選びください。（複数回答可）

N=49



### 障害経験別の障害対策実施比率

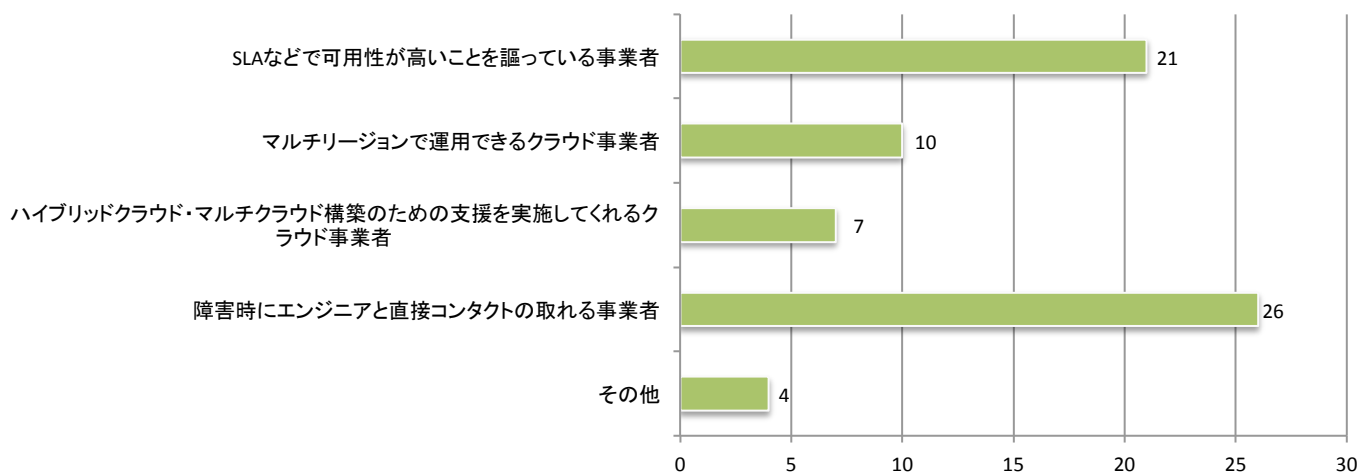


	マルチリージョン	ハイブリッドクラウド	マルチクラウド	特別サポート契約	何もしていない	その他
障害有り	11	5	2	7	14	6
障害なし	2	0	0	2	8	1

49社の回答のうち最も多かったのは、「システム障害時の対策として何もしていない」であり、23社が回答した。次いで、「マルチリージョンでの運用」で13社が回答した。障害を経験の有無によって障害対策の実施比率が明らかに差があることがわかり、最も選択される方法が「マルチリージョン」を利用した対策である。

(20) 今後、障害に強いシステムを構築するためにどのようなクラウド事業者を選びたいか、選択肢よりお選びください。（複数回答可）

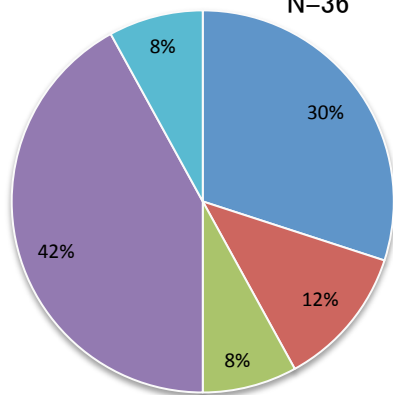
N=49



## 障害経験別の障害対策実施比率

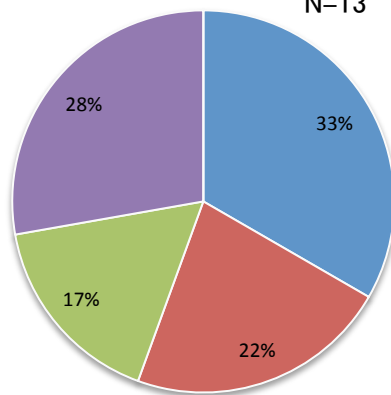
障害有り

N=36



障害なし

N=13



- SLAなどで可用性が高いことを謳っている事業者
- マルチリージョンで運用できるクラウド事業者
- ハイブリッドクラウド・マルチクラウド構築のための支援を実施してくれるクラウド事業者
- 障害時にエンジニアと直接コンタクトの取れる事業者
- その他

	SLAが高い	マルチ運用リージョン可能	ハイブリッド・マルチクラウド支援	障害時にコンタクトがとれる	その他
障害有り	15	6	4	21	4
障害なし	6	4	3	5	0

49社の回答のうち最も多かったのは、「障害時にエンジニアと直接コンタクトの取れる事業者」であり、26社が回答した。次いで、「SLAで可用性が高いことを謳っている事業者」で21社が回答した。障害経験のある企業の半数以上が、「障害時にエンジニアと直接コンタクトの取れる事業者」と回答しており、障害時に問い合わせができない事業者が多いことが分かる。

商号 株式会社エスエスアイ・ラボ

本社所在地 東京都港区赤坂1-3-3 T-FRONTビル2階

創業 1979年5月

資本金 19,000,000円

クラウド運用および障害対策実態調査レポート

2016年6月 発行  
【レポート作成・発行】

本レポートの一部、または全部について、いかなる方法においても無断で複製、複写することは禁じられています。

# クラウド運用および障害対策 実態調査レポート